

戦後に米から文具⇒児童は絵でお礼

本川小と教会 友好を映画化

重藤さん試写会「平和の種世界に」

試写会後、映画に込めた思いを当時の児童たちに語る重藤さん(奥)



が咲く市内の様子を総
にした石田俊海さん
(71)「中区1は「原爆
投下を肯定する米国の
人たちにせひ見てほし
い」と述べた。
重藤さんは「小さな
友好が平和への種とな
る」ことを、映画を通し
て世界中の人に知って
もらいたい」と話す。
映画は来年5月に完成
予定で、同月のカンヌ
国際映画祭(フランス)
8月1日には原爆資
料館(中区)で特別試
写会を開く。無料。試
写会実行委員会の世良
俊馬事務局長(090
(4651)4744。

広島原爆の爆心地に近い本川小(広島市中区)の児童が、1947年に米ワシントン

の教会から届いた文房具など支援物資のお礼に、描いた絵などを贈った史実を描いたドキュメンタリー映画がほぼ完成した。

26日、当時の児童たち約50人を招いた試写会が中区であった。(長久兼佑)

タイトルは「ピロシ
マの校庭から届いた
絵」。米国在住の舞台
芸術家、重藤マナレ
静美さん(62)が制作し
た。

当時のいきさつや、

今も教会が作品を保存
していること、感銘を

受けた重藤さんが、2
006年に制作を開
始。教会関係者や当時
の児童のインタビュー
を重ね、平和を築くた
めの交流の大切さを描
いた。

試写会では1時間45
分の試写作品を上映。桜